

# 文化の継承

歴史の変遷とともにおし寄せる近代化の波。その中、古い酒づくりを、また酒の文化を継承するため「掛合酒蔵資料館」はつくれました。

## 人とひとがふれあう

この施設を拠点に「ふるさとの酒を造る会」は田植えから、仕込みそして榨りまで全てにたずさわり、酒づくりをとおし、人とひとがふれあう活動をくり広げています。

# かけや酒蔵資料館

## 酒蔵の歴史

醸造施設の見学会ができます。

現在では年に一度の酒づくりが行われています。

## 展示室

## 物販・試飲コーナー

地域特産品販売をいたします。

また、地酒の試飲体験ができます。

## 映像紹介

映像により、醸造工程、雲南

市の紹介及び、竹下家の歴史等ご覧になれます。

## 酒蔵の歴史

慶應二年（一八六六年）竹下家六代「理右衛門」氏が当地方屋指の大池主田部家より酒蔵を譲受け、竹下酒造を開業する。

明治三十一年（一八九七年）八代「儀造」氏が現在も残るこの酒蔵を建造する。

当初の主力銘柄は『日ノ出』とされ、大正時代に『大象』、その後昭和五三年に主力銘柄を『出雲巻』とし現在にいたる。

この間、会社組織は昭和三十一年竹下酒造有限会社が設立、昭和五四年に株式会社竹下本店に組織変更されている。

平成十五年（二〇〇三年）掛合町（現在の雲南市）が竹下本店より酒蔵の建物寄附を受ける。

酒蔵の建造物としてのおもむきを保存し、伝統文化ともいえる日本酒醸造文化を伝承・紹介する施設として改修工事がされる。

平成十七年（二〇〇五年）掛合酒蔵資料館としてオープン

# かけや酒蔵資料館

営業時間：AM10:00～PM4:00

休館日：火・水曜日（祝祭日は除く）

入館料：無料

※団体でご来館の場合は、ご予約をお願いいたします。

〒690-2701 島根県雲南市掛合町掛合955-6

TEL・FAX 0854-62-1122

## 交通アクセス



- 三次ICから車で 約70分
- 三刀屋・木次ICから車で 約40分
- 出雲空港から車で 約40分

